

“防災”提案事業推進委員会（第7回）まとめ  
～避難所開設訓練(宿泊型・半日型)の運営等について～

- 1 日時 平成26年9月25日(水)午後6時30分～8時45分
- 2 ところ 西成公民館2階中会議室
- 3 メンバー 31名

(以下はA4両面印刷物の形で配布)

“防災”推進委員会メンバー(18名)

協議会役員9名 小中学校長7名 赤十字奉仕団1名 所長1名

(仮称)“防災”事業協力員メンバー(13名)

町会長協議会役員5名 次期瀬部役員1名 今期西成役員1名

次年度訓練の2小学校区(瀬部・時之島・西成)の女性会の役員(6名)

#### 小学校区別

##### 瀬部小

熊澤良嗣(顧問) 米田和浩(安心安全部会長) 足立敏彦(校長) 原捷(理事)

坂井直行(連区長・理事) 川合守信(校区長) 岩下道彦(次期校区長)

岩下光子(女性会会長・時之島) 長尾成美(同副会長)

山本百合江(女性会会長・瀬部) 北川治巳(同副会長)

##### 西成小

日比宰(校長) 西岡靖元{今期副校区長} 関戸進(理事・防災キャップ)

小川すみ子(女性会会長) 西岡隆子(女性会副会長)

##### 西成東小

信安紀彦[会長] 加藤晋之(校長) 佐野岩雄(校区長)

##### 赤見小

安藤久雄(副会長) 小泉渡(校長) 中埜春雄(校区長) 脇田みさ子(日赤分団長)

##### 浅野小

江口英機(副会長) 浅野芳弘(校長) 真下利雄(校区長)

中根建夫(理事) 岸正武(理事)

##### その他

山内久幸(西成中校長) 吉川徳康(西成東部中校長) 高瀬裕男(所長)

#### 4 話題事項(勉強会の内容)

次年度以降の提案事業“避難所開設訓練等”を効果的に進めるための方策を考える

##### 避難所運営訓練(HUG)

指導:危機管理室: 皆元室長・伊藤主任・奥村さん

##### 他都市の“避難所開設訓練”の例について

名古屋市東区・熱田区(半日型) 緑区(宿泊型) 別添・資料参照

開設訓練運営マニュアルはどのように作成すべきか

他都市の例（富士市松本地区他3地区の避難所運営間マニュアル）

瀬部小・西成小の例

一宮市の避難所開設のルール

以上 ～ に関する参考資料（以下紹介に留め、このまとめへの貼付は割愛）

避難所運営のポイント（一宮市の方針） A 4 - 1 枚

“避難所開設訓練”の例

- ・ 名古屋市緑区旭出学区（宿泊型） A 4 - 3 枚
- ・ 名古屋市東区筒井学区（半日型） A 4 - 2 枚
- ・ 名古屋市熱田区（半日型）

避難時運営マニュアル（抜粋）

- ・ 静岡県富士市松本地区他3地区（富士高校集合） A 4 - 4 枚
- ・ 西成小、A 4 - 1 枚
- ・ 瀬部小、A 4 , B 4 - 各2枚

HUG（避難所運営訓練、A 4 - 3枚）とDIG（災害図上訓練、A 4 - 1枚）

5 次回日程（案）

平成25年11月 26 日

## “防災”提案事業推進委員会（第8回）まとめ

- 1 日 時 平成25年11月26日（水）（拡大推進委員会） 午後7時から
- 2 ところ 西成公民館小会議室
- 3 メンバー 信安紀彦（西成） 江口英機（浅野） 安藤久雄（赤見）  
熊澤良嗣（瀬部） 関戸 進（西成） 米田和浩（瀬部）  
原 捷（瀬部） 脇田みさ子（赤見） 足立敏彦（瀬部小）  
日比 幸（西成小） 加藤晋之（西成東小） 小泉 渡（赤見小）  
浅野芳弘（浅野小） 山内久幸（西成中） 吉川徳康（西成東部中）  
岸 正武（浅野） 中根建夫（赤見） 高瀬所長
- （拡大）26年度小学校区メンバー
- 坂井直行（瀬部） 川合守信（瀬部） 岩下道彦（瀬部）  
岩井光子（瀬部） 山本百合江（瀬部） 北川治巳（瀬部）  
佐野岩雄（西成東） 西岡靖元（西成） 小川すみ子（西成）  
西岡隆子（西成） 中埜春雄（赤見） 真下利雄（浅野）
- = 出席

### 4 協議事項

- （1） 今後のタイムスケジュールについて
- （2） 各小学校区の実行委員会（仮称）のメンバーの検討
- （3） 避難所開設等訓練の概要案
- （4） 防災講演会の啓発と当日の役割分担について

### 5 その他

次回委員会 平成25年12月19日（木）午後7時

（以下資料 2～16頁）

- ・提案事業年度別計画（26年度） 2～3頁
- ・避難所開設等訓練の小学校区毎の実行委員会の立ち上げ 4頁
- ・避難、避難所開設訓練（宿泊型）スケジュール 瀬部小 5～6頁
- ・避難、避難所開設訓練（半日型）スケジュール 西成小 7～8頁
- ・26年度実施の防災訓練実施上の留意点 9～11頁
- ・防災講演会への参加についての依頼書（瀬部小・西成小校区） 13頁
- ・防災講演会案内書 14頁
- ・安心安全で絆ある快適な地域作り事業（26年度） 15～16頁

## 提案事業年度別計画（26年度）

地域防災力アップ推進事業～宿泊型・半日型防災訓練～

平成26年1月～3月

- 1 26年度実施の瀬部小・西成小学校の各実行委員会（仮称）等打ち合わせ会の開催 2  
回程度

- 2 講演会開催の日程の調整

26年度の講演会 開催日時 講師の都合 会場

赤見・西成東 西成東部中学校

浅野 浅野小学校

2月16日（日）午後2時46分～4時26分

講師：名古屋大学准教授 護 雅史 さん

テーマ：南海トラフ巨大地震からまちを守る～自助・共助～

ところ：西成中学校

対象：瀬部・西成小学校区住民

- 3 県防災局に「地震体験車」の派遣依頼（市危機管理室を通して）

- 4 地域防災リーダー養成講座の検討

26年度の養成講座等の日程調整

ア) 26年1月又は2月開催の2日間開催の危機管理室主催の「自主防災リーダー研修会」に瀬部・西成校区から複数派遣等を検討する。

イ) 簡易防災備蓄機材取扱い訓練(60分)と防災教室(90分)の開催（危機管理室に依頼）  
出前講座「はじめの一步」

自主防災会リーダーに参加してもらおう。特に赤見・浅野・西成東は27年度に宿泊型・半日型避難所開設訓練等予定しているので 複数の参加を要請する。

とき：平成26年 6 月 日

ところ：防災教室 西成公民館

資機材取扱い 西成東部中学校の備蓄倉庫使用

ウ) 26年度開催の自主防災講演会(11月)に多数参加を要請する。

平成26年4月

地域づくり協議会提案事業特別交付金の補助金等交付金申請書の申請

町会長協議会・民生児童委員協議会 老人クラブ連合会その他関係団体等の  
理解を深めるための働きかけを実施

平成26年6月7日(土)～8日(日) 瀬部小学校で宿泊型訓練 実施

事前打ち合わせ会（4月から1～2回開催）

平成26年6月14日(土) 西成小学校で半日型訓練実施

事前打ち合わせ会（４月から１～２回開催）

平成２６年６月～９月

２７年度提案事業の事業計画・予算について協議して９月末提出に向け最終実施事業計画を策定する。

平成２６年１１月

自主防災講演会（危機管理室）に多数のメンバーの参加を要請する。日赤炊き出し訓練に参加を要請

平成２７年１月

自主防災リーダー研修会（２日間）に浅野・赤見・西成東小校区で複数以上の参加を要請する。（尾西生涯学習センター 危機管理室）

２７年宿泊型訓練等（できるだけ早期に実施日決定）

宿泊型 赤見校区 赤見小学校 月 日（土）～ 日（日）

半日型 西成東 西成東小学校 月 日

浅野 浅野小小学校 月 日

平成２７年３月

事業完了（４月に完了報告）

地域づくり協議会予算に計上（２７年度事業）

## “避難所開設等訓練”の小学校区毎の実行委員会の立ち上げ

### 1 実行委員会について

26年度～27年度の2年間にわたって5小学校で、“避難所開設等訓練”を実施することになり、それぞれの校区で実行委員会を立ち上げて、それぞれの“訓練”を効果的、効率的に実施するための体制を整備する。

特に、瀬部小、西成小は26年度6月に“実施”のために早急に、立ち上げ体制を整備する必要がある。その他（赤見・西成東・浅野）についても、出来るだけ早期に、それぞれ、体制づくりに取り組む。

### 2 メンバー構成について

(考え方) 地域づくり協議会の提案事業として“避難所開設等訓練”を実施するので、“防災”推進委員会メンバー 関係のある安心安全部会のメンバー 開催年度の町会長協議会のメンバー その他関係機関の職員や地元の経験者等で構成する。

### 3 実行委員会の立ち上げ時期

瀬部、西成小校区については、26年1月末を目途に

赤見、西成東、浅野小については 26年4月末を目途に

### 4 各小学校区の実行委員会メンバーの素案（リストアップ）

#### 瀬部小

(訓練実施日 平成26年6月7日(土)～8日(日)に宿泊型訓練(14町内)

町内会長(各自主防災会会長)

瀬部校区の“防災”推進委員会及び安心安全部会のメンバー

施設管理者(瀬部小学校)

避難所開設時の市担当者(瀬部小)

その他校区内の防災関係経験者(消防団員等)

#### 西成小

(訓練実施日) 平成26年6月14日(土)に半日型訓練(12町内) 上記と同様

なお、27年度実施の赤見・西成東・浅野についても同様とする

避難・避難所開設訓練（宿泊型）スケジュール

H26/6/7-8 瀬部小学校

時間	訓練項目	訓練内容	担当	参加者	場所	備考
14:46		突発型地震の発生 (震度6強)				
	避難所開設訓練	地区担当員が小学校入口と 屋内運動場を開錠 ・屋運の危険度を確認して 入室する ・校区長は避難所を開設し 避難所管理運営を行う	市職員(地 区担当者)	市職員  校区長 校区役員・地 域づくり役員	小学校  運動場 屋内運動場	避難所 本部の テント設 営(机椅 子等)
	住民避難訓練	町内毎に一次避難所(地区 公民館・広場等)に集合して 小学校へ ・警察・消防団の避難誘導で 小学校へ(避難所)	町内会役員 (誘導班)  時之島交番 地区消防団	避難住民	定められた 場所に集合  運動場(定 められた場 所に町内整 列)	安全な ルートを 予め確 認のこ と
	避難者名簿の作成	避難した人の名簿を町内の 世帯毎に作成	名簿班		名簿用紙は備蓄倉庫 にある	
16:00	各種訓練 避難所運営訓練	訓練開始のあいさつ 避難所を運営する際の必要事項を災害発生を想定して「班別役割」にそって実施 ・総務班………全般的な運営管理、避難所設営管理 ・名簿班………名簿作成 ・食料物資班……食料等受け入れ管理、炊き出し ・救護班………高齢者・障害者・負傷者の対応 ・衛生班………トイレ、ゴミ、避難所内清掃 ・情報連絡班……問い合わせ対応、各種情報の伝達 ・避難誘導班……避難路の安全確認・誘導・避難所内の安全確保				
16:00	炊き出し訓練  物資受け入れ	釜を使いハイゼックスによる 炊き出しを行い、夕食250食 (カレー)を作る	食料物資班  日赤奉仕団 の指導			米・カレ ー等は 事前調 達
17:30	配給訓練	炊き出しのカレーを帰宅者 100名に先行配布、その後宿 泊者150名の順で配布  夕食の片付け	食料物資班  衛生班			各自ゴ ミ袋へ

避難・避難所開設訓練（宿泊型）スケジュール

H26/6/7-8 瀬部小学校

時間	訓練項目	訓練内容	担当	参加者	場所	備考
15:30	避難所運営委員会の開催	避難所運営訓練について	総務班		本部	
16:00	仮設トイレ組立訓練	備蓄倉庫に備蓄されている仮設トイレの組み立て使用法を学ぶ	衛生班 市職員 (地域づくり役員)	衛生班	運動場	雨天は室内
	応急手当訓練	消防署	救護班	救護班 その他	屋内運動場	
17:00	出前講座 (震災に備える)		市職員	総務班	屋内運動場	
16:00 ~	避難所宿泊体制 施設整備 (150名)	レイアウトにより、シート・敷きマット・毛布を備蓄倉庫から搬送し整備	総務班		屋内運動場	
17:30	避難所体験		総務班	帰宅者	屋内運動場	
18:00	帰宅者は名簿班に届け出		名簿班 避難誘導班	帰宅者 100名	本部 (テント)	
18:30	宿泊体験者夕食	食料物資班から夕食の配給を受け食事をとる	食料物資班	宿泊 150名	屋内運動場	
19:00 ~	日赤防災講習	暑さ対策・宿泊時の注意点を学ぶ	救護班 日赤	宿泊 150名		
20:00	備蓄資材の(発電機)操作訓練	明るさ体験	総務班	宿泊者	屋内運動場	
21:00	運営委員会開催	ミーティング	関係役員		屋内運動場	
22:00		就寝				
2日目						
6:00		起床				
6:30	ラジオ体操		救護班			
6:45	物資受け入れ配給訓練	150人分の朝食(パン2個とペットボトル)調達し町内毎に参加者に配布する	食料物資班			
7:15		朝食・片付け				
7:30	避難所の閉鎖	挨拶・解散 使用した屋内運動場の復元 ゴミ片付け。使用した資機材で再利用のものは出張所へ搬送する	総務班(町内役員・地域づくり役員)			



避難・避難所開設訓練（半日型）スケジュール

H26/6/14 西成小学校

時間	訓練項目	訓練内容	担当	参加者	場所	備考
8:46		突発型地震の発生 (震度6強)				
	避難所開設訓練	地区担当員が小学校入口と 屋内運動場を開錠 ・屋運の危険度を確認して入 室する ・校区長は避難所を開設し、 避難所管理運営を行う	市職員(地 区担当者)	市職員  校区長 校区役員 地域づくり役 員	小学校  運動場 屋内運動場	避難所 本部の テント設 営(机椅 子等)
	住民避難訓練	町内毎に一次避難所(地区 公民館・広場等)に集合して 小学校へ ・警察・消防団の避難誘導で 小学校へ(避難所)	町内会役員 (誘導班)	避難住民	定められた 場所に集合	安全な ルートを 予め確 認のこ と
	避難者名簿の作成	避難した人の名簿を町内の 世帯毎に作成	名簿班		名簿用紙は西中の備 蓄倉庫にある	
10:00	防災訓練 ・避難所運営訓練	訓練開始のあいさつ  各町内から避難所支援員  避難所を運営する際の必要事項を災害発生を想定して「班別役割」にそって実施 ・総務班………全般的な運営管理、避難所設営管理 ・名簿班………名簿作成 ・食料物資班…食料等受け入れ管理、炊き出し ・救護班………高齢者・障害者・負傷者の対応 ・衛生班………トイレ、ゴミ、避難所内清掃 ・情報連絡班…問い合わせ対応、各種情報の伝達 ・避難誘導班…避難路の安全確認・誘導・避難所内の安全確保			運動場	全員
	炊き出し訓練 ～ 物資受け入れ	釜を使いハイゼックスによる 炊き出しを行い、昼食250食 (カレー)を作る	食料物資班 日赤奉仕団 の指導		運動場	
11:30  12:00	配給訓練	炊き出しのカレーを町内毎に 順次配給 その他資料配付  昼食の片付け	食料物資班   衛生班			米・カレ ー等は 事前調 達 各自ゴミ 袋へ

避難・避難所開設訓練（半日型）スケジュール

H26/6/14 西成小学校

時間	訓練項目	訓練内容	担当	参加者	場所	備考
9:30	避難所運営委員会の開催	避難所運営訓練について	総務班		本部	備蓄倉庫は西中
10:00	仮設トイレ組立訓練	備蓄倉庫にある仮設トイレの組立て方と使用法を学ぶ	衛生班 市職員 地域づくり 役員	衛生班	運動場	雨天時は屋運
	避難所宿泊体制施設整備	レイアウトによりシート・敷マット・毛布を倉庫から搬送し整備(モデル的に設置)	総務班		屋内運動場	
	起震車体験	県の起震車を借り、震度6強を体験する	県担当者		運動場	
11:00	出前講座 (震災に備える)		市職員	総務班	屋内運動場	
12:00	避難所体験		総務班	希望者	屋内運動場	
13:00	避難所の閉鎖	挨拶・解散 使用した屋内運動場の復元、ゴミ片付け 使用した資機材で再利用のものは出張所へ搬送する	総務班 (町内役員・ 地域づくり 役員)			

## 26年度実施の“防災”訓練実施上の留意点

1 “訓練”があまり前面にでないように、出来るだけ、災害発生時のまま（事前準備はリーダーには必要だが）状況にまかせて、災害発生時から「避難所開設」訓練をスタートさせる。

2 2時46分に震度6強の巨大地震が発災したと仮定し、その時点から「自主防災会」の活動スタート

町内の状況把握（自主防災会の現況調査）

自主防災会の役割分担

（例） 会長・副会長

情報班

消火班

救助教護班

避難誘導班

給食給水班

環境衛生班

情報伝達

携帯マイク1個

メガホン5個

避難・救出・救護用

自主防災会旗 1式

腕章7枚

ロープ（25m）1本

ヘルメット7個

強力ライト 5個

\* 防災会には、上記の資機材等が給付されている。

現物給付を受けようとする自主防災会は、次の書類の提出が必要

- 1) 自主防災会設置届
- 2) 補助申請書
- 3) 規約
- 4) 自主防災計画
- 5) その他市長が必要と認める書類

避難誘導

避難誘導班

町内避難者は1次避難所（公民館など）に集まり、集団で避難所である地区の小学校にまとまって（ロープで相互に助け合って）避難する。

ア 避難路については 安全を十分確認 安全ルートで学校へ

イ 安全に避難するために 避難用誘導班が、要所に立ち誘導する。

ウ リーダ は町内の旗(自主防災会旗)、ヘルメット 強力ライト メガホンなどを用意し、引率する。

エ 平時に地域の災害危険箇所を把握し、“災害危険マップ”を作成しておくことも肝要。

避難所(小学校の屋運)到着

屋内運動場の安全確認まで、屋外で町内ごとに待機

名簿班

避難者名簿の作成

町内ごとに世帯ごとに 住所、氏名、年齢、男女、特記事項を備蓄倉庫に用意された様式に記入してもらい集約する。(様式、筆記用具等の確認が必要か)

ア 備蓄倉庫の鍵の開閉はだれか

派遣された職員が本務であるが、地区担当職員が未着の時は？ だれが！

総務班

避難所となる屋内運動場の整備(レイアウトにもとづく会場の整備)

屋内運動場の安全確認が判定されたら、施設班(総務班)が、会場を150人宿泊できるように、備蓄倉庫から毛布、シート、敷きマット等で準備する。

その間、避難者は外で待機

ア 各町内(自主防災会の担当)の総務班担当

イ あらかじめ総務班の班長は指名 総班長の指揮のもと会場整備に取り組む

発電機・投光器・コードリールの取扱い訓練

食料物資班(指導：赤十字奉仕団)

各自主防災会の食料物資班は、避難者への食糧調達配布・炊き出し等について総班長の指揮のもと、夕食、朝食の準備のために取り組む

ア 夕食のための炊き出しに取り組む(250食)

事前に 日赤から炊き出し関係器具等を借用する。

6月13日(金)～6月16日(月)まで借用

その運搬担当も

ガスについても事前手配(瀬部小に配達依頼)

炊飯袋の事前購入

イ 夕食・朝食の素材の購入・運搬

食材(お米・カレー食材) 夕食250食 朝食150食分

飲み物(お茶500ml) 250 + 150 = 400本

食器類(スプーン お皿) 250食分

パン(朝食用)150食

6月14日に避難所(瀬部小)まで運搬(事前に依頼が必要)

カネスエ瀬部店 (店長山田誠司)瀬部流 36 - 20

53 - 3108

業務スーパー大山店(責任者井戸田真一)大赤見東川垂 1

75 - 5377

救護班

高齢者・障害者・負傷者の対応

応急救護の訓練 (指導：消防署・日赤)

#### 衛生班

トイレ、ゴミ、清掃、飲料水の管理

簡易トイレの組み立て(備蓄倉庫のトイレの組み立て)訓練

#### 情報連絡班

指定された避難所(屋外運動場の一角)に、集合した避難者に現在の状況(ルール等)を説明する。

避難所の基本ルールを張り出す。

その他伝達事項の掲出(広報版の設置と啓発)

## 防災講演会について

- 日 時 平成26年2月16日(日) 午後2時46分～4時26分  
ところ 西成中学校屋内運動場  
講師等 南海トラフ巨大地震に備える～自助・共助でまちを守る～  
名古屋大学減災防災センター 准教授 護 雅史 さん  
対 象 26年度開催の瀬部・西成小校区民を対象、  
西成中学生にも働きかける  
ねらい 震災に備えるという情報提供とともに26年度実施の避難・避難所開設訓練につなぐ  
事前イベント

### 防災講演会の役割分担(当日)・・・推進委員会メンバー

会場設営 平成26年2月16日(日)午後1時30分から  
西成公民館体レク事業のビーチボール交歓大会終了後

- 1 講演台、スクリーン、マイク等放送設備  
パワーポイント等の準備、演題の掲出
- 2 椅子の配置(250名～300名)
- 3 受付のための机(6脚程度)

注) 終了後の後片付けも

受講者の受付(町内別受付のための人数)...各町内会から{2時16分}

瀬部	丹羽(井端含む)
時之島	若年
	大山町(東南北)
	西大海道

西中生

当日の講演会次第・・・地域づくり協議会[会長・副会長]

司会進行  
開会の辞  
会長挨拶  
講師紹介  
閉会の辞

### 事前の手配等

防災講演会の啓発(関係町内会長あて依頼文と“防災講演会”のチラシ)  
講演会資料の作成、受付用町内名、講師への正式依頼  
会場の申し込み



## “ 防災講演会 ” のご案内

- 1 日 時 平成26年2月16日(日)午後2時46分から
- 2 ところ 西成中学校屋内運動場
- 3 演 題 南海トラフ巨大地震に備える  
～ 自助・共助でまちを守る ～
- 4 講 師 名古屋大学減災連携センター  
准教授 護 雅 史 さん

### 5 ねらい

西成連区地域づくり協議会では、平成26年～27年度にわたり提案事業として「避難所開設・運営訓練等」を予定しています。

26年度瀬部小校区では6月7日(土)～8日(日)の宿泊型の避難・避難所開設訓練等を。また、西成小校区では6月14日(土)に半日型の訓練を予定いたしております。(27年度は赤見・西成東・浅野で実施)

今回の講演会は、瀬部小・西成小校区を対象に実施いたします。駐車スペースもありませんので、避難訓練の一環とし、徒歩か自転車でお出かけください。



( 避難所開設・運営訓練 )



## 安心・安全で「絆」ある快適な地域づくり事業（26年度）

### 地域防災力アップ推進事業（避難所開設訓練等）

#### 地域防災リーダーの養成

ア） 危機管理室の協力を得て西成東部中学校の備蓄倉庫内の資材を使用し、「備蓄機材取り扱い訓練」や避難所開設訓練{HUG}など防災リーダー 講座を開催する。

イ） 防災講演会(中学校区2回)

広く 地域住民に防災減災の働きかけをする。

大地震を想定した住民参加の避難所開設、運営訓練の実施。

瀬部小学校において、簡易防災備蓄倉庫資材を利用しつつ、避難訓練、炊き出し、簡易トイレ組み立て及び宿泊体験を行なう。

西成小学校においては、半日型の避難訓練、炊き出しなどを行なう。

防災啓発資材等の購入。

LEDホイスルホルダー、防災・減災啓発資料、教育用DVD、  
防災リーダー用ベストを購入する。

費目	支出内訳	金額	備考
事務費	会議費・資料作成等	46,000	
事業費	防災訓練保険		市対応
	炊き出し経費(250人×2校)		
	食材(米、カレー食材)	66,524	
	食器類	18,452	
	飲み物	44,000	
	燃料費	15,000	
	炊飯袋(一括)	9,010	
	宿泊経費(150人)		
	朝食(飲み物含む)	43,950	
	毛布クリーニング・パック	267,750	
	敷きマット	141,750	
	ブルーシート	40,950	
	資機材品補充経費	70,000	
	防災啓発資材等		
	防災・減災資料(1,500部)	191,625	
	教育資材(HUG)	6,700	
	LEDライト付ネックホイスルホルダー(独居ほか2150個)	316,050	
	教育資材用DVD(2本)	136,500	
	防災リーダー用ベスト(80着)	134,400	名入り

	講演会（2回）		
	講師謝礼・旅費・等	140,000	
	合 計	1,688,000	調整